

# ユネスコ主催 第6回国際成人教育会議 CONFINTEA VI の成果をどう活かすか

- 成果文書 The Bélem Framework for Action 「ベレン行動枠組み」をめぐって -

主催 第6回国際成人教育会議(CONFINTEA VI)のための

国内「草の根会議」

## 本日のプログラム



司会 常葉-布施美穂（御茶の水大学、日本社会教育学会）  
記録 河野明日香（筑波大学）  
受付 持丸邦子（所沢こどもルネサンス実行委員会、NHK 学園）  
小荒井理恵（教育協力 NGO ネットワーク（JNNE）、  
ユネスコアジア文化センター）

13:30 開会のあいさつ 荒井容子（法政大学、「草の根会議」事務局、  
社会教育推進全国協議会）

13:35~14:45

### 第一部：CONFINTEA VI 報告

（13:35~14:35）

- CONFINTEA VI の概要と「草の根会議」の取り組み 荒井容子（法政大学）（15分）
- 日本政府の取り組み  
リ - ジョン会議への参加 立田慶裕（国立教育政策研究所）  
本会議への参加 笹井宏益（国立教育政策研究所）
- 会議での、国際 NGO の活動の様子 三宅隆史（ASPBAE 理事、  
シャンティ国際ボランティア会）
- 会議の様子 日本からのオブザ - バ - 参加者による報告（15分ほど）  
写真披露、ブ - スの様子、個々の感想

（14:35 ~ 14:45）質疑応答（10分）

14:45 ~ 14:55 休憩

14:55 ~ 16:45（110分）

## 第二部：討論：成果文書「ベレン行動枠組」をどう読むか。どう活かすか。

～ 政策、実践、運動に向けて～

( 14:55 ~ 15:10 )

1. 成果文書「ベレン行動枠組」の概要紹介 常葉-布施美穂 (御茶の水大学) (15分)

( 15:10 ~ 16:45 )

2. 成果文書「ベレン行動枠組」についての意見

～日本の現状と課題(「市民社会組織レポート」執筆内容)を踏まえて～

< 15:10 ~ 15:35 > 事前依頼者 各5分程度(10分以内)

- 1) 公民館(社全協、(日本公民館学会))
- 2) 民労働者・民族的マイノリティ(日本語フォーラム全国ネット、少数民族懇談会)
- 3) 識字教育・日本語学習・夜間中学(全国夜間中学)
- 4) 開発教育と社会教育・成人教育(日本開発教育協会)
- 5) 開発途上国における日本の成人識字教育協力(教育協力NGOネットワーク)

< 15:35 (16:00) ~ 16:45 > ~当日の参加者から自由に～

\* 「市民社会組織レポート」に執筆参加された、その他の分野から

(図書館(山口・小林・高橋) 博物館(栗山) 社会教育職員(三輪・佐藤進) 大学(山本健滋) ジェンダ(中藤) 企業内教育(野口) 障害者の学習(小林繁) 高齢者の学習(堀) 平和学習(藤田秀雄・谷岡) 健康学習(松下拓) 環境学習(鈴木克徳・村上千里)等々)の方々など)

< ~ 16:45 > ~自由討論～

16:45~17:00 休憩

17:00~17:30

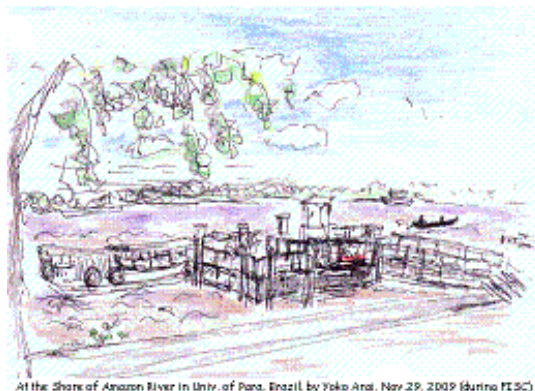
## 第三部 CONFINTEA VI のモニタリング・フォローアップの立ち上げ

(「草の根会議」としての今後のモニタリング・フォローアップ体制・方法の確認)

1. モニタリング・フォローアップ案の提案(野元弘幸 首都大学東京、  
日本社会教育学会)(10分)
2. 自由討議：今後のアクション、時期等について(20分)

17:30 ~ 17:35

閉会のあいさつ 谷和明(東京外国語大学)



At the Shore of Amazon River in Univ. of Para, Brazil, by Yoko Arai, Nov. 29, 2009 (during FISC)